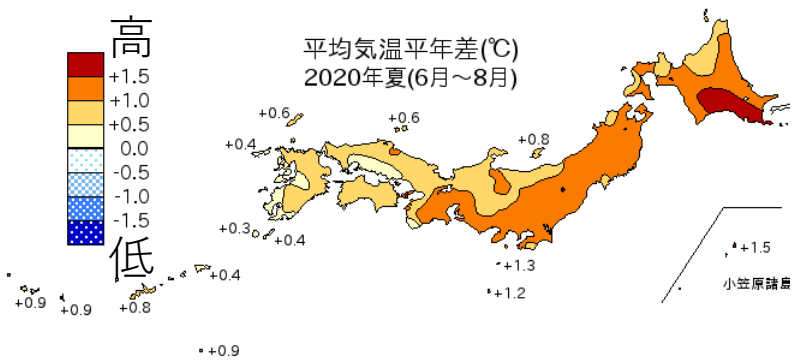
今夏の天気概況・集中豪雨や台風の動向を振り返る

中野満寿男（海洋研究開発機構 JAMSTEC）

2020/9/26 「富岳」第一回シンポジウム～豪雨・台風の高精度な予測を目指して～ @zoom

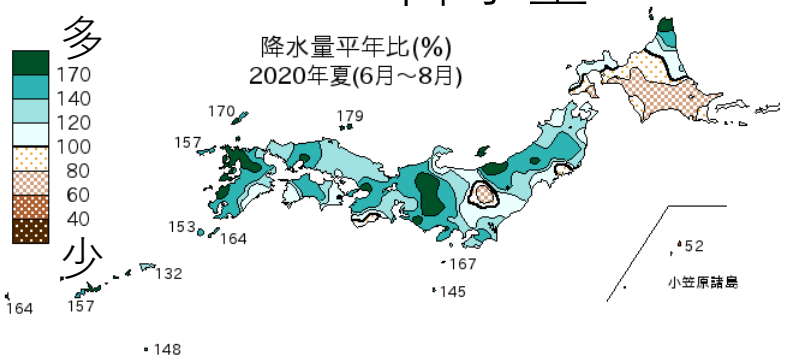
日本の夏（6－8月）の天候

気温



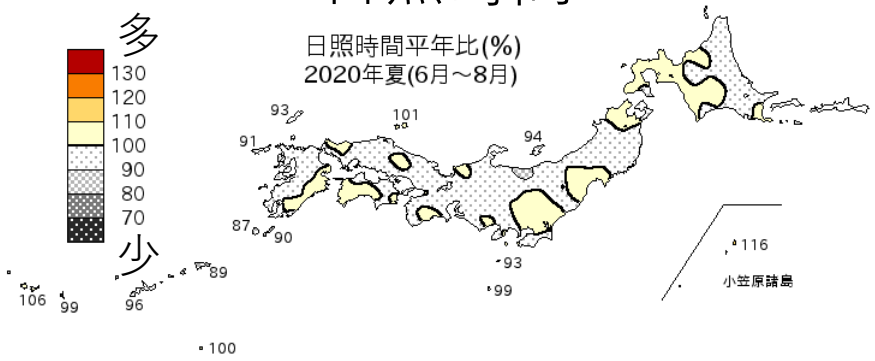
- 猛暑（特に8月）

降水量



- 「令和2年7月豪雨」

日照時間



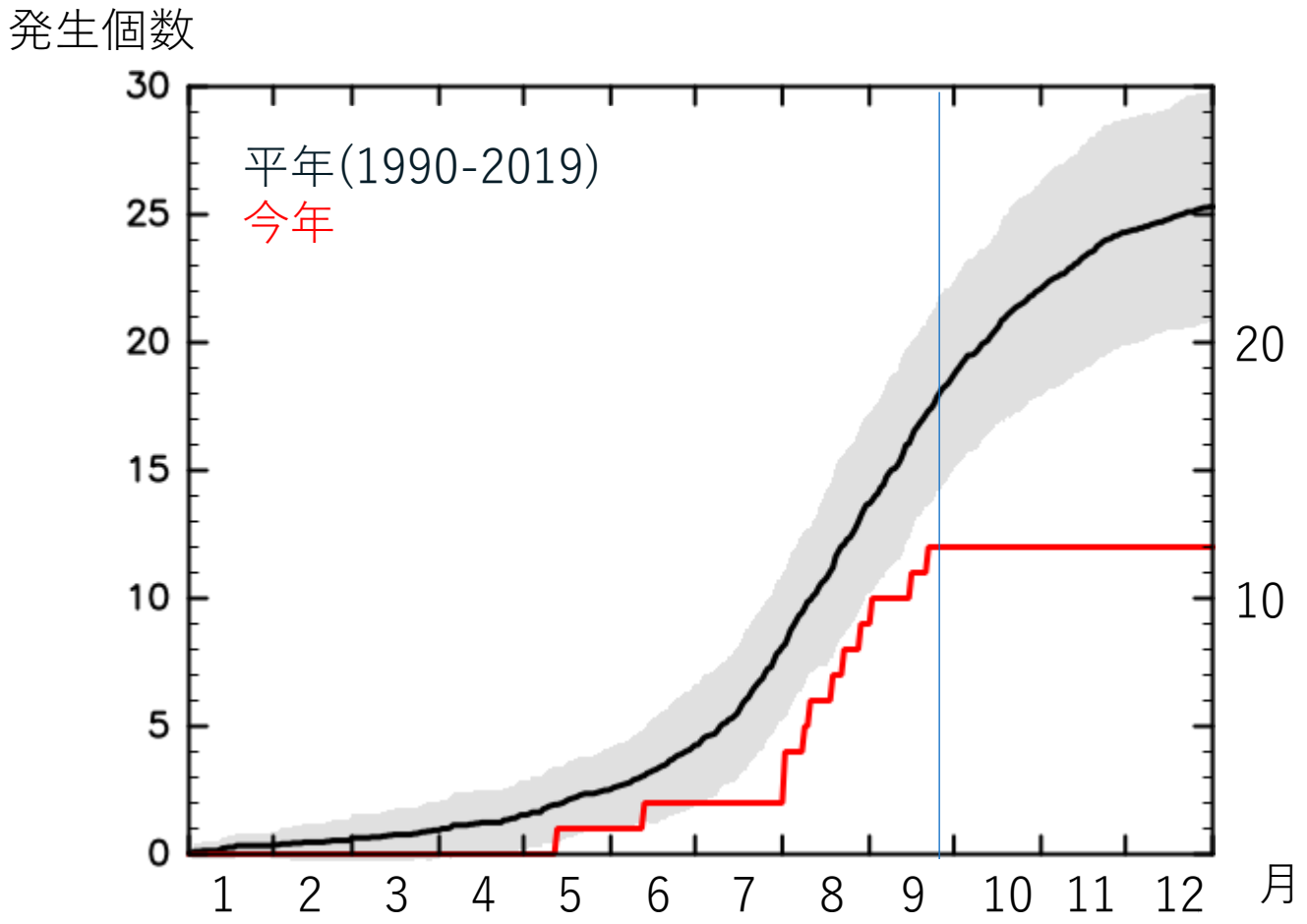
- 「令和2年7月豪雨」

http://www.jma.go.jp/jma/press/2009/01b/tenko200608.htmlより

台風の活動

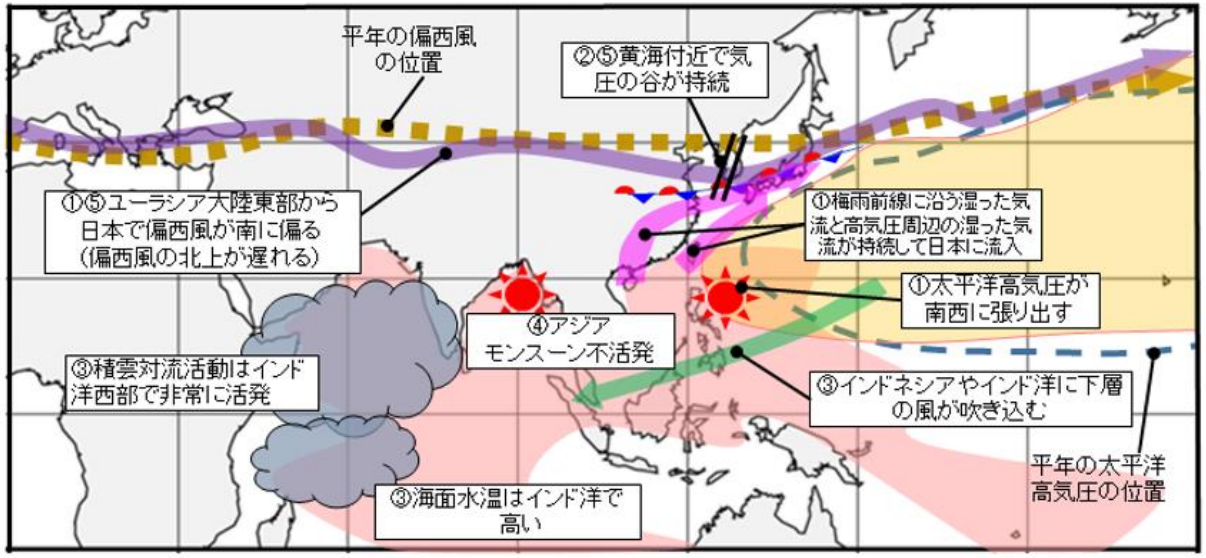
- 7月までかなり低調（7月の発生数０は観測史上初※）

※速報値



今日のお話

- なぜ7月は大雨が降りやすかったのか？
- なぜ7月の台風発生数は0だったのか？
- 今後の（台風の）見通しは？



気象庁HP:令和2年7月の記録的大雨や日照不足の特徴とその要因について～異常気象分析検討会の分析結果の概要～より
https://www.jma.go.jp/jma/press/2008/20a/kentoukai20200820.htm

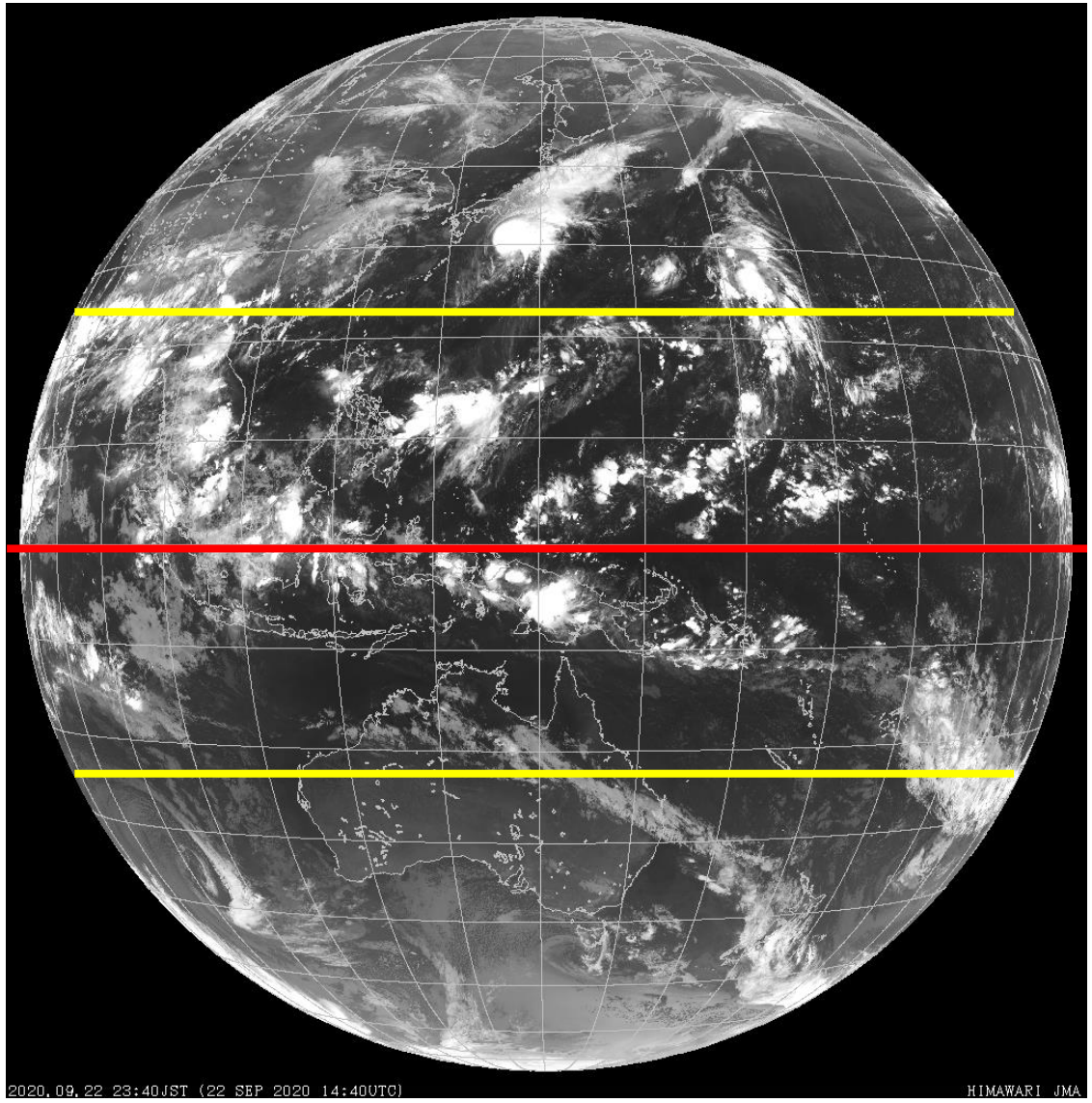
今日のお話

- なぜ7月に大雨が降りやすかったのか？
- なぜ7月の台風発生数は0だったのか？
- 今後の（台風の）見通しは？

海面水温
テレコネクション

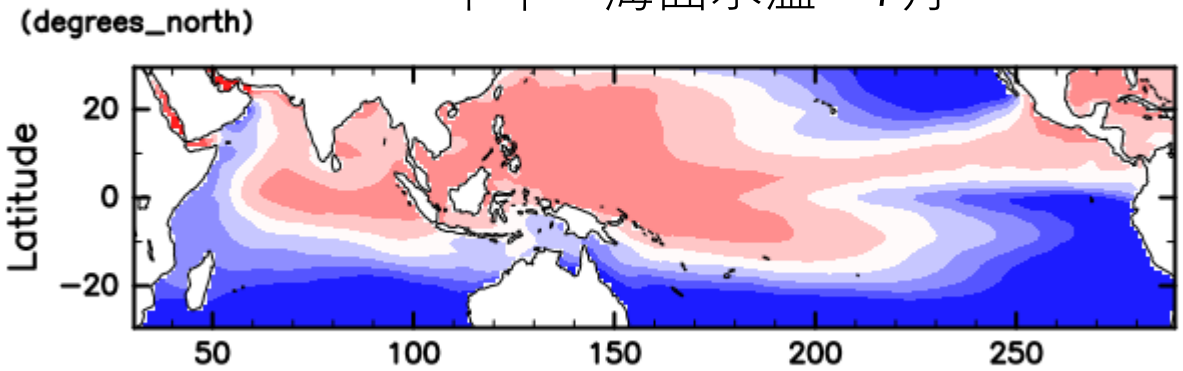
異常気象と熱帯

- 熱帯は太陽からの熱を一番多くもらっている
- 熱帯には海（水）がたくさんある。
- 熱帯は深い対流（雲）が起きやすい

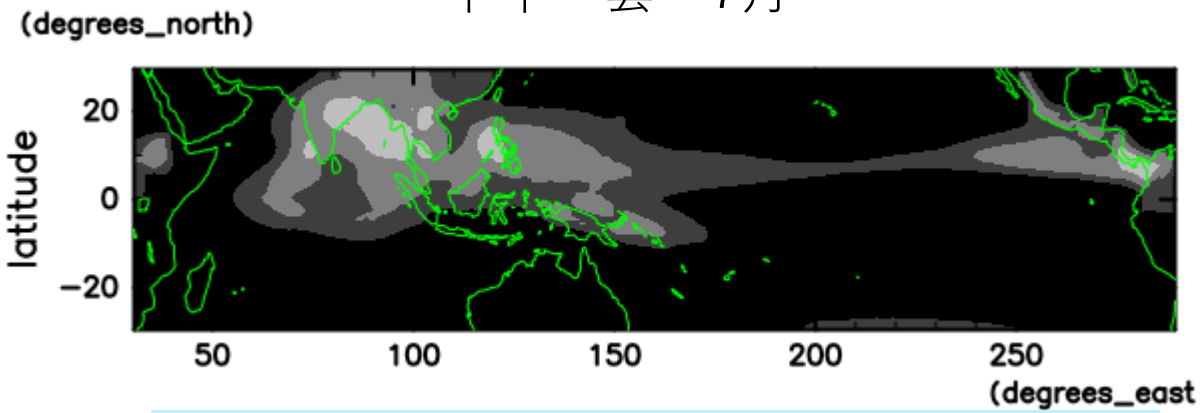


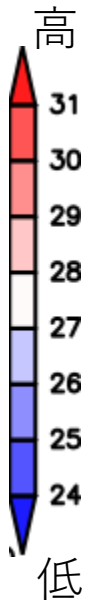
平年と今年の海面水温と雲の分布

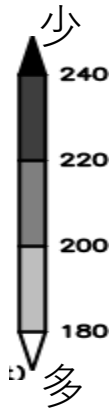
平年　海面水温　7月



平年　雲　7月

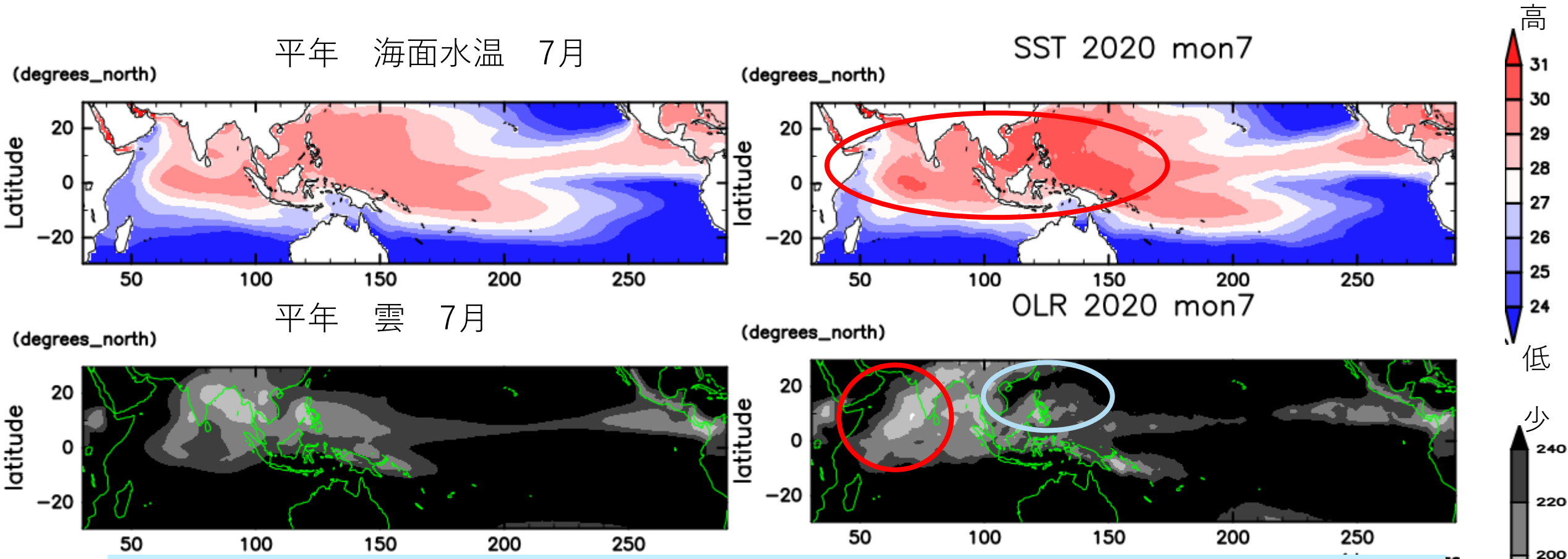






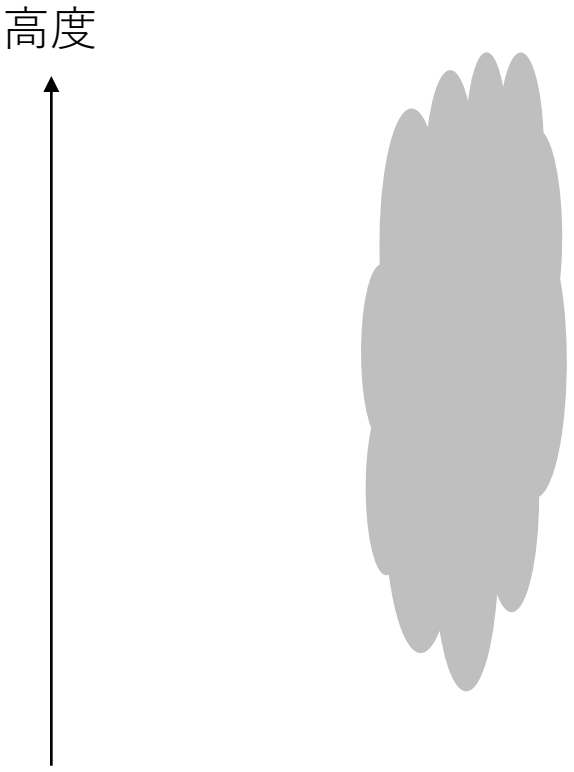
海面水温が高いところで雲が多い

平年と今年の海面水温と雲の分布

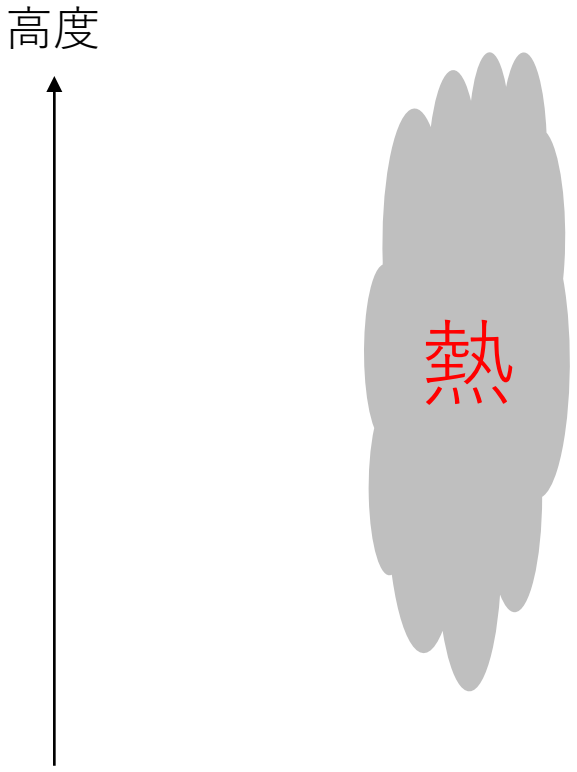


今年7月は西太平洋からインド洋にかけて平年より高温。
インド洋西部で雲が多く、フィリピン付近で雲が少なかった。

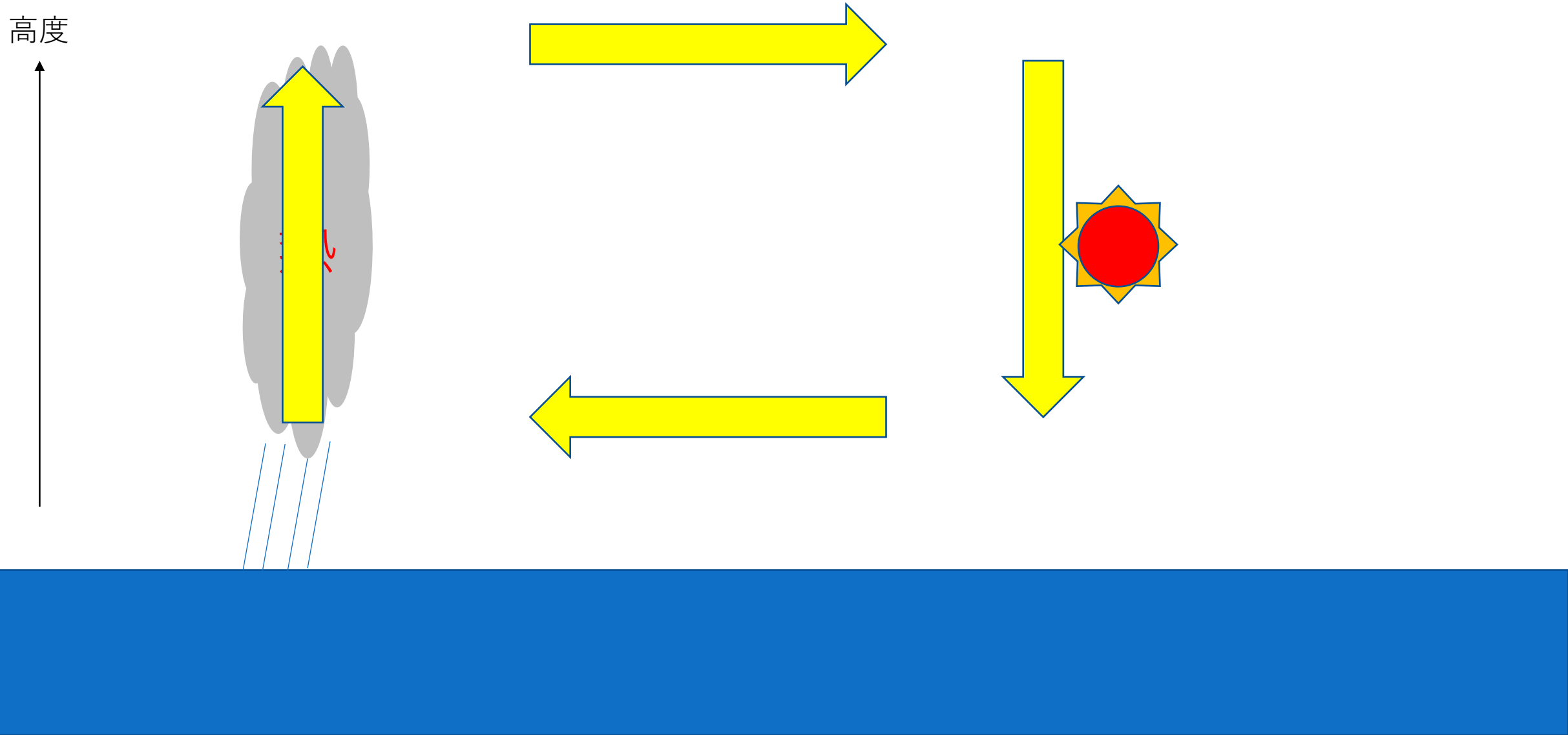
雲と風



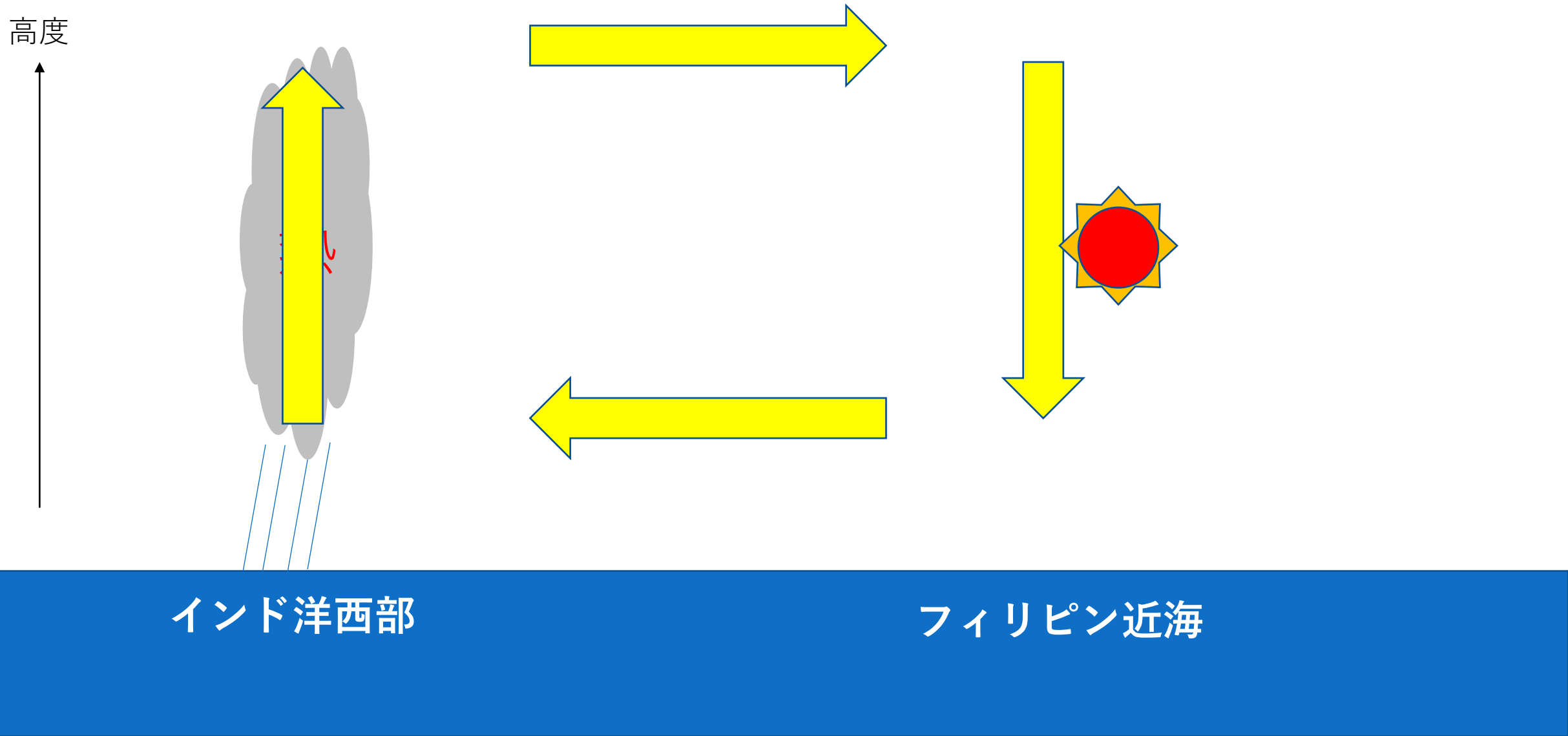
雲と風



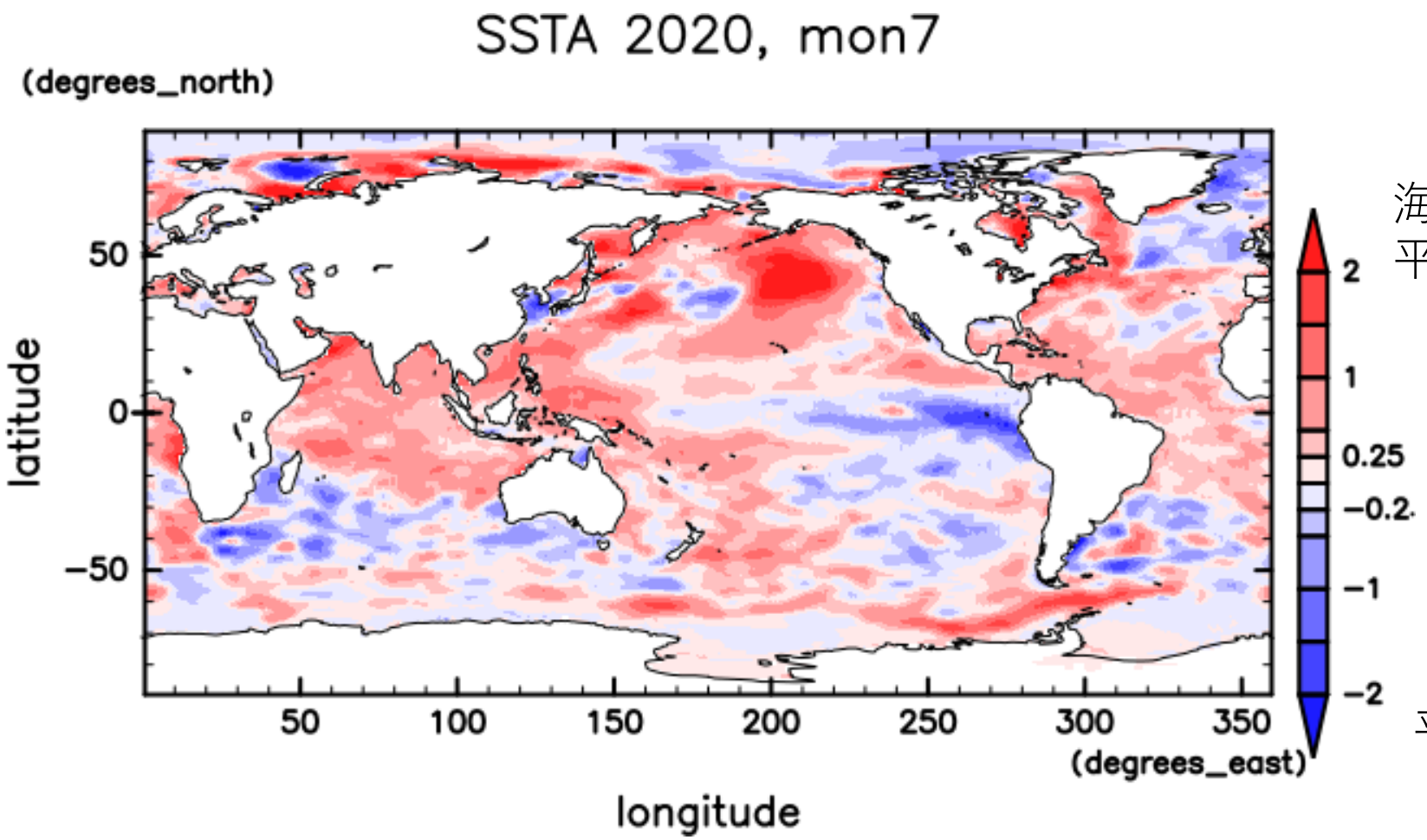
雲と風



インド洋の雨がフィリピンの晴れに影響？



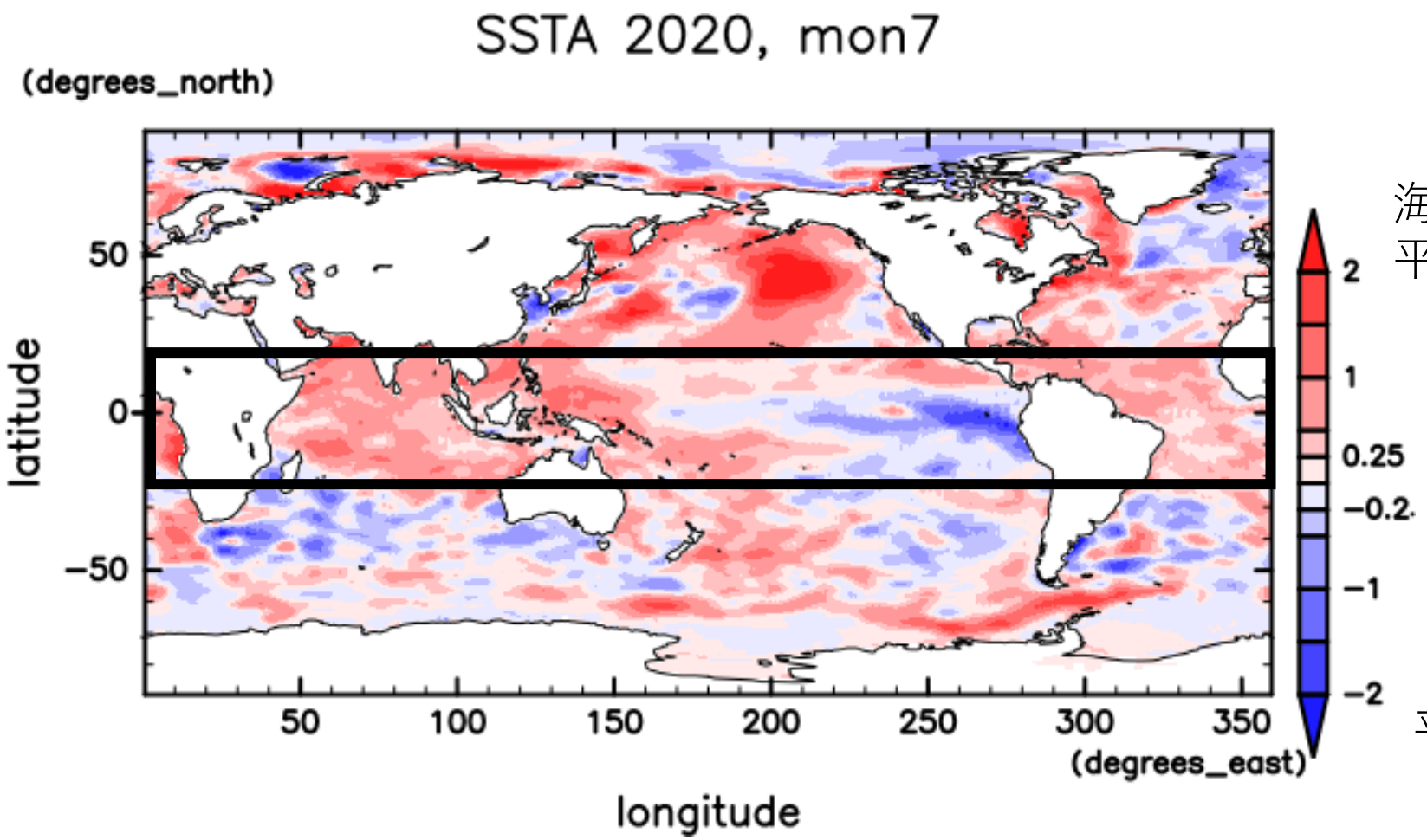
７月の海面水温の平年からのずれ



海面水温
平年より高い

平年より低い

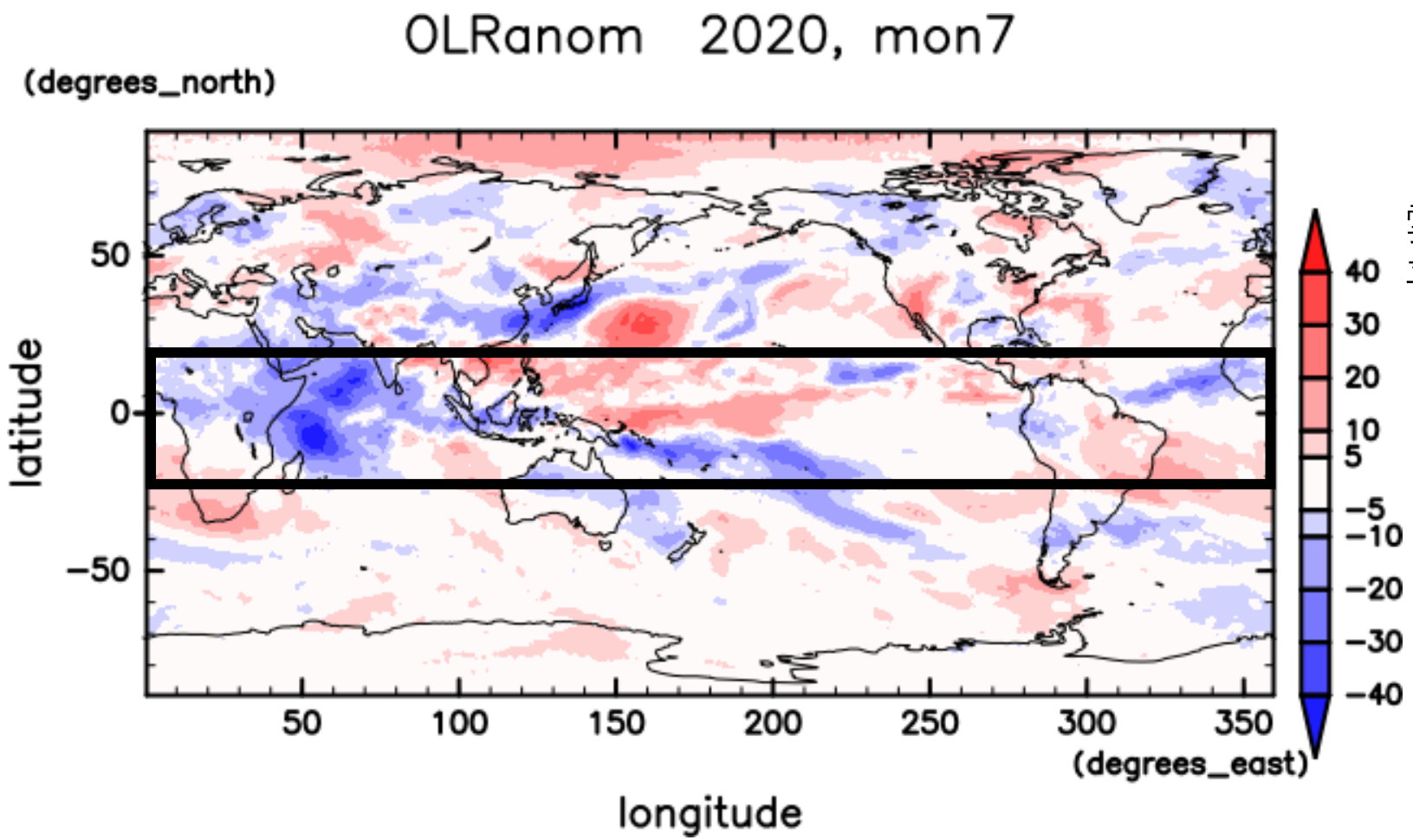
７月の海面水温の平年からのずれ



海面水温
平年より高い

平年より低い

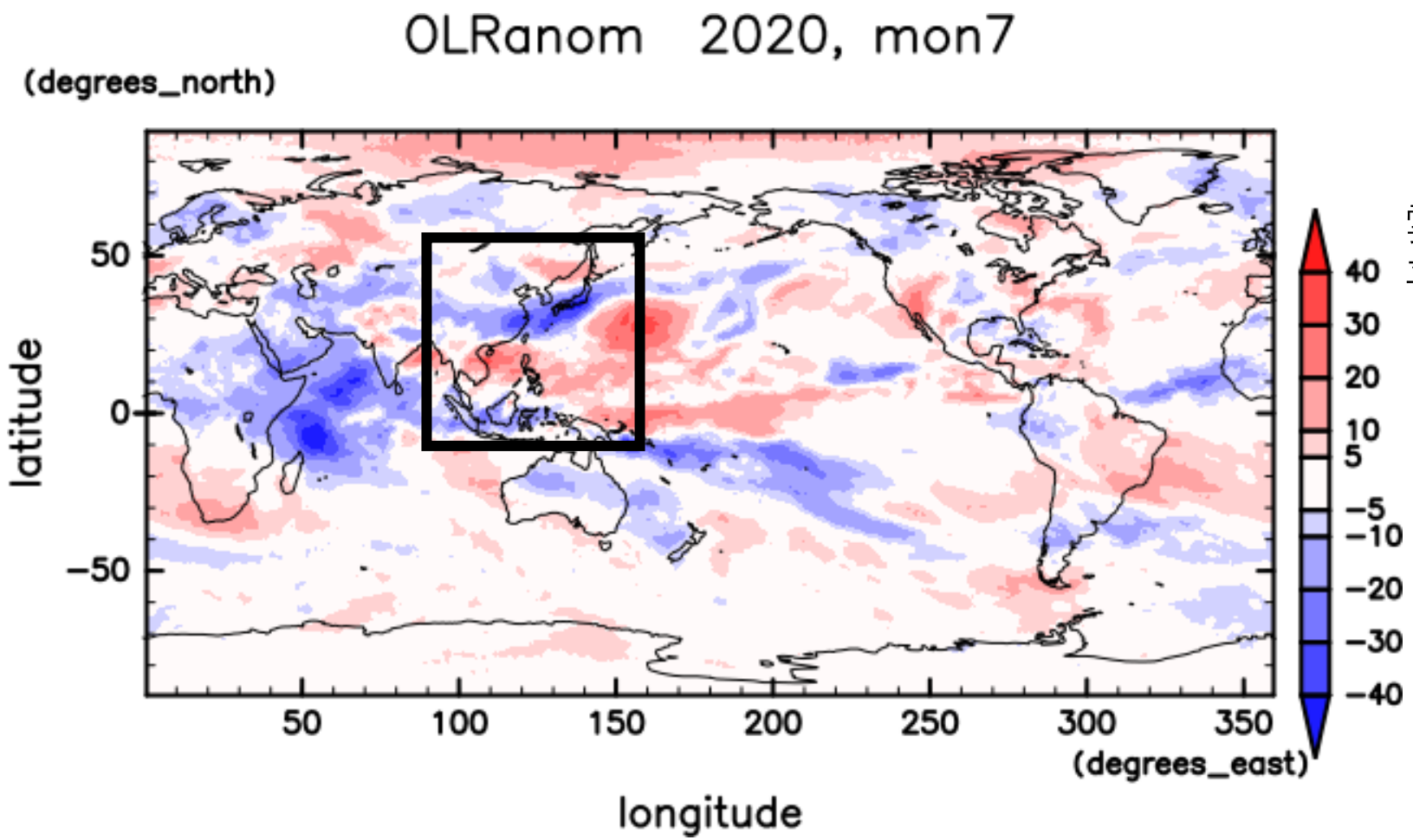
７月の雲の多さの平年からのずれ



雲
平年より少ない

平年より多い

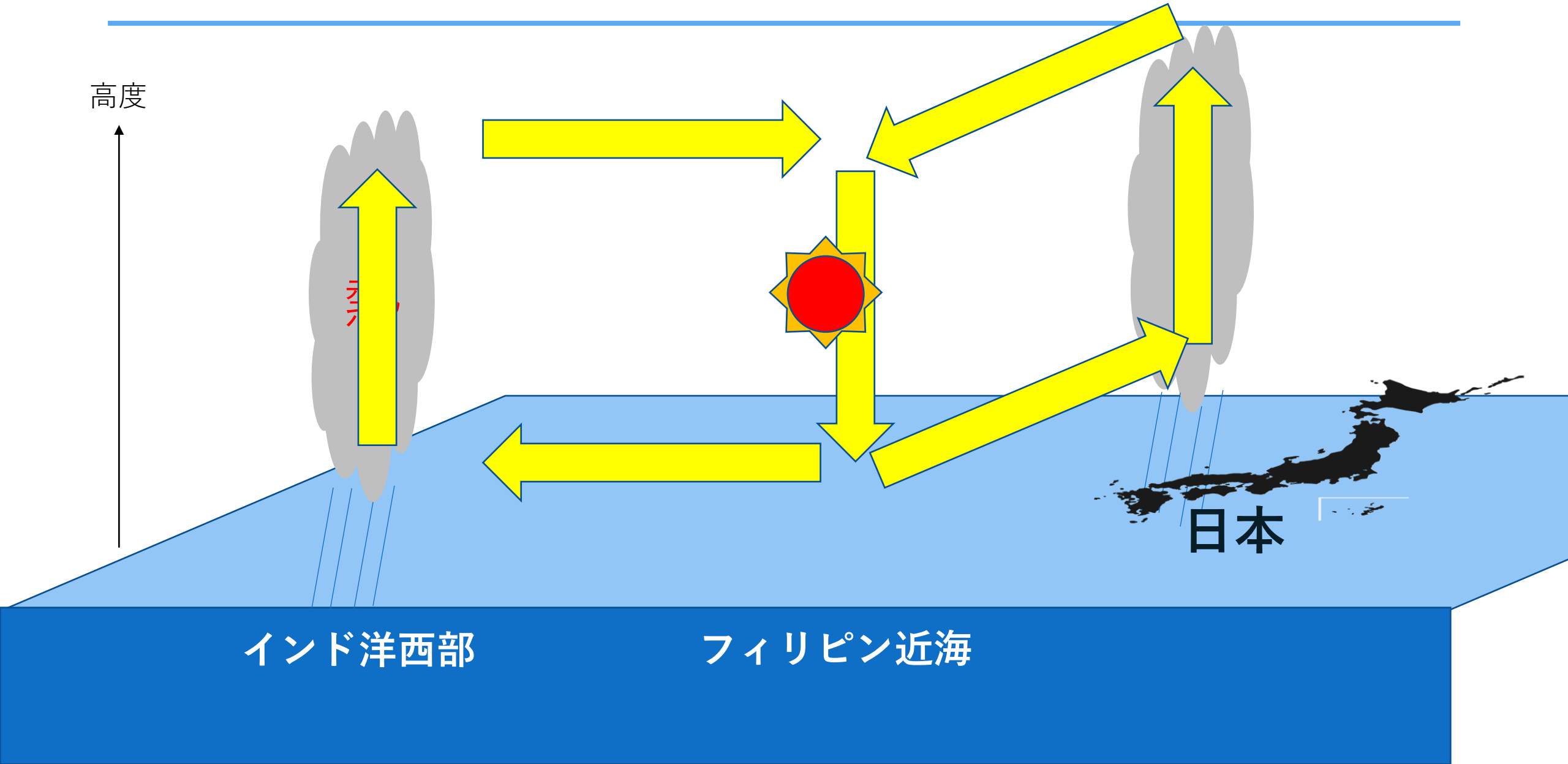
７月の雲の多さの平年からのずれ



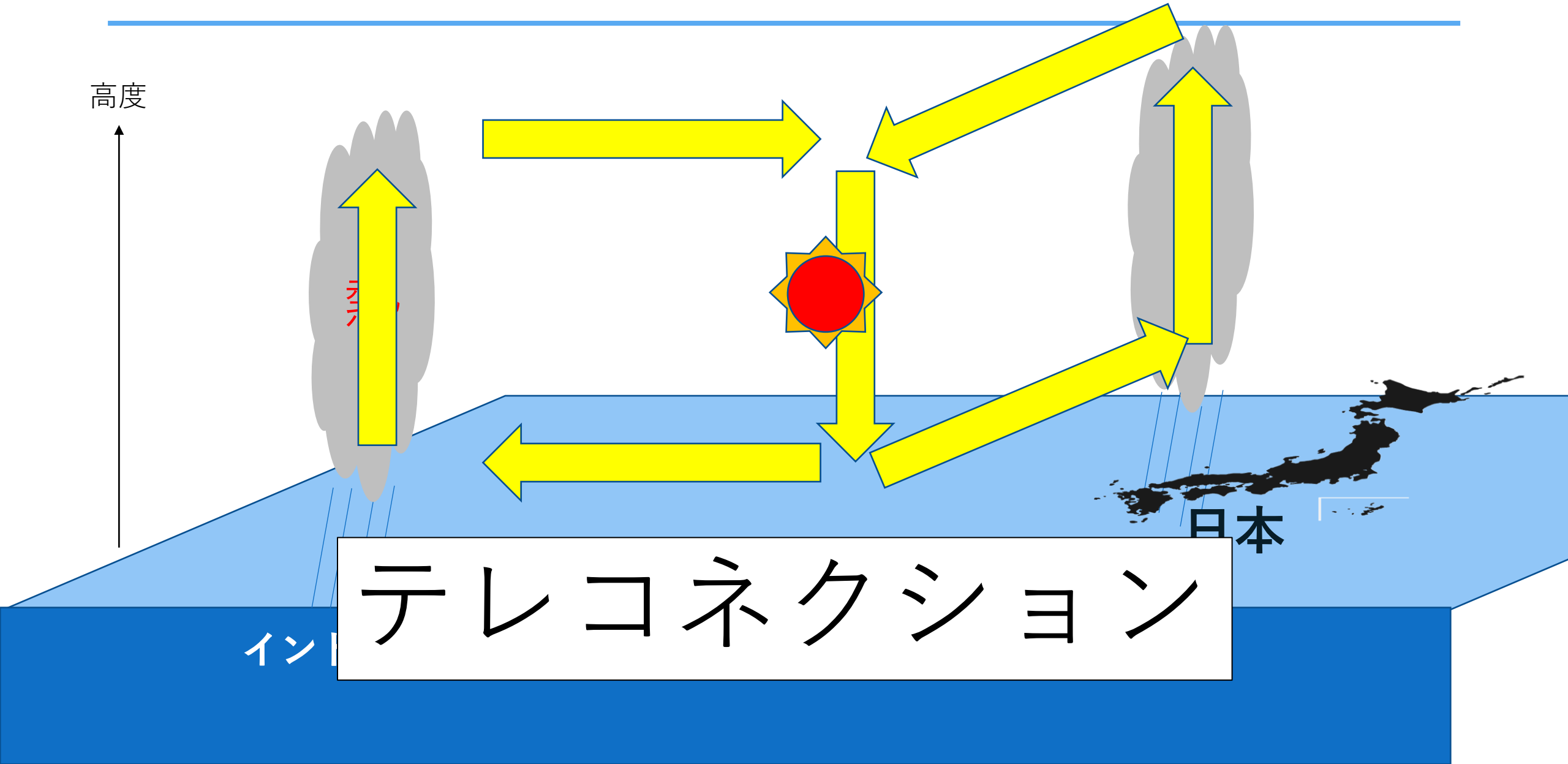
雲
平年より少ない

平年より多い

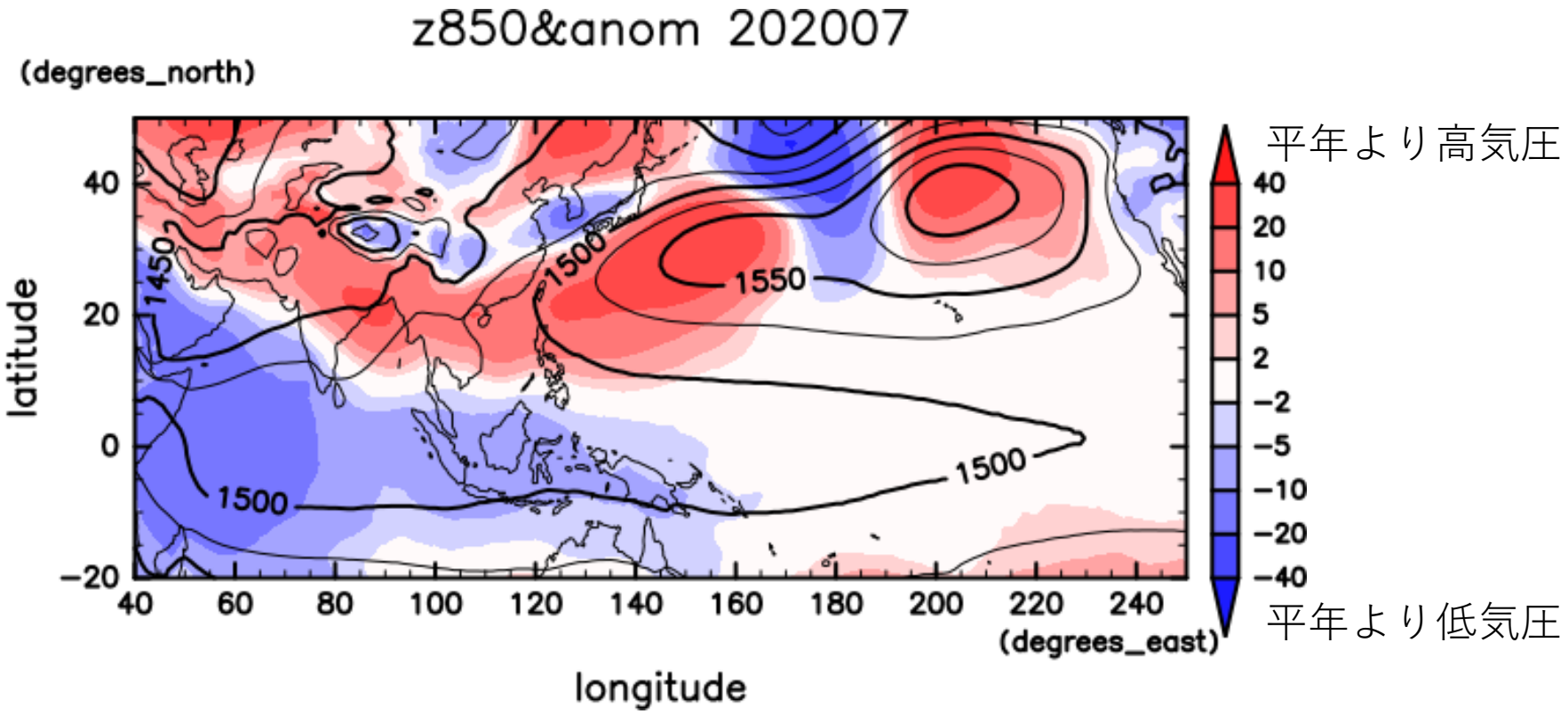
インド洋の雨→フィリピンの晴れ、日本の雨？



インド洋の雨→フィリピンの晴れ、日本の雨？

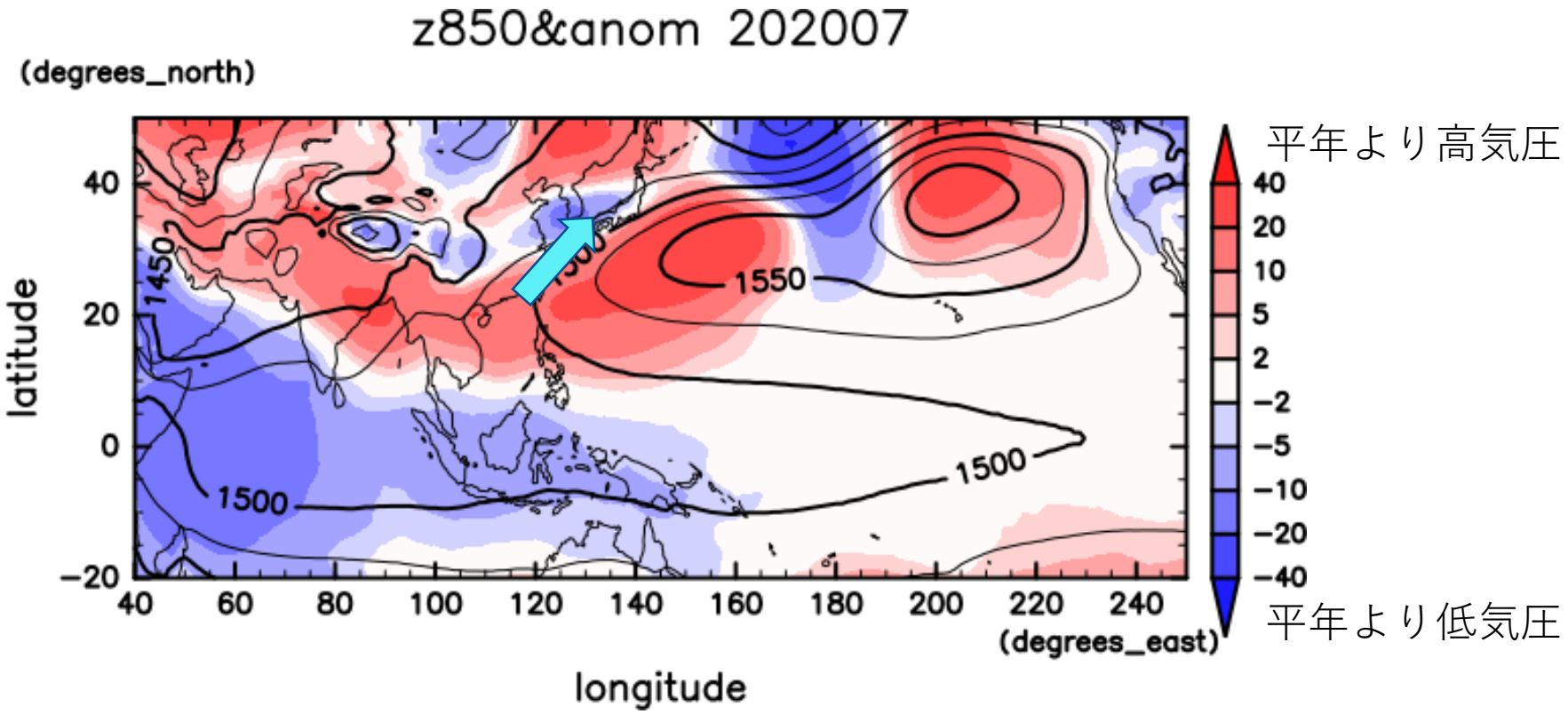


7月の気圧の平年からのずれ



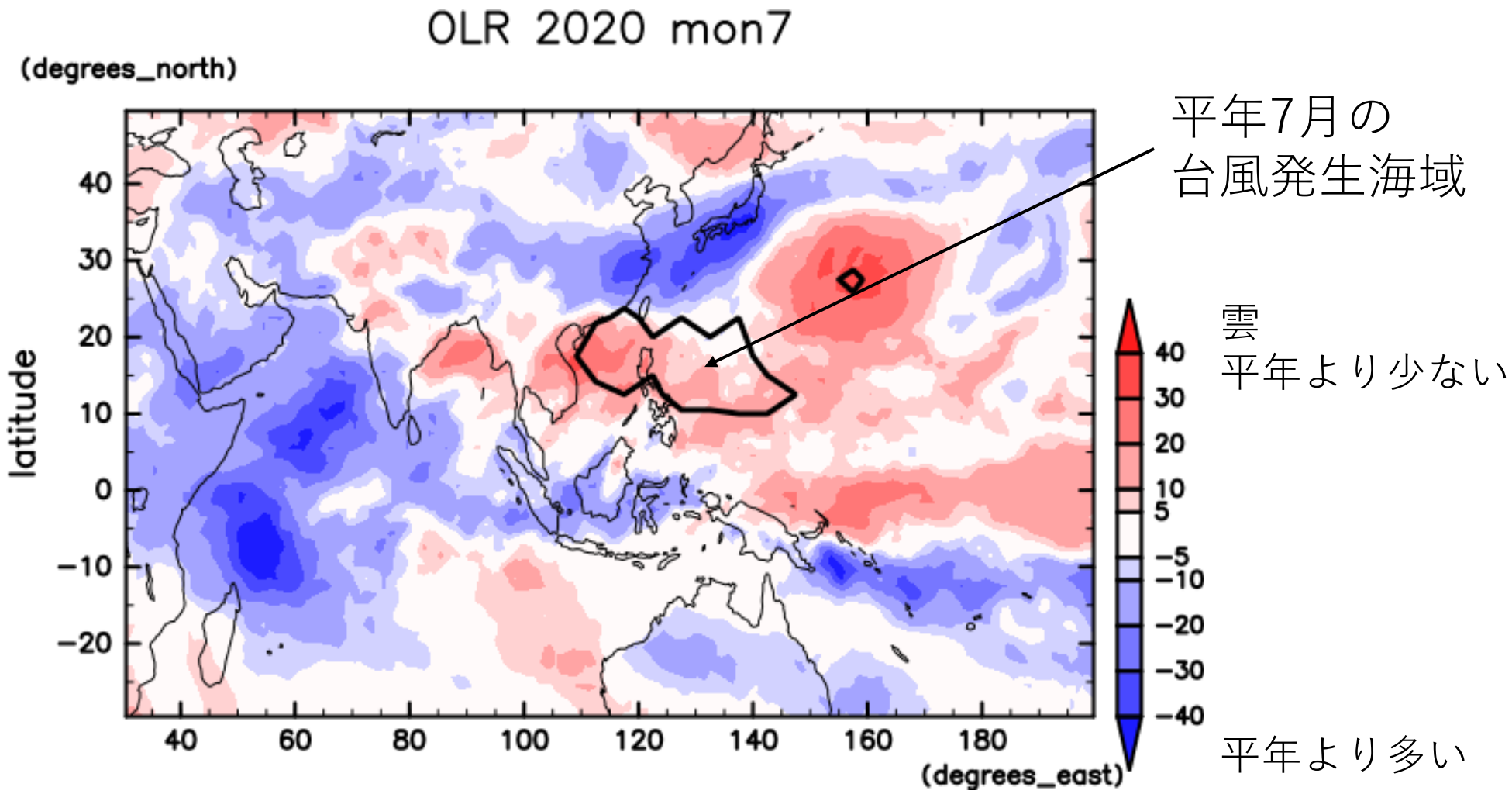
テレコネクションで日本付近は平年より低気圧

7月の気圧の平年からのずれ



テレコネクションで日本付近は平年より低気圧
南からの湿った空気が入りやすい状況だった

7月台風発生ゼロもテレコネクションの影響？



台風発生海域で雲が少なかった

今後の見通し

エルニーニョ監視速報（No.336）について

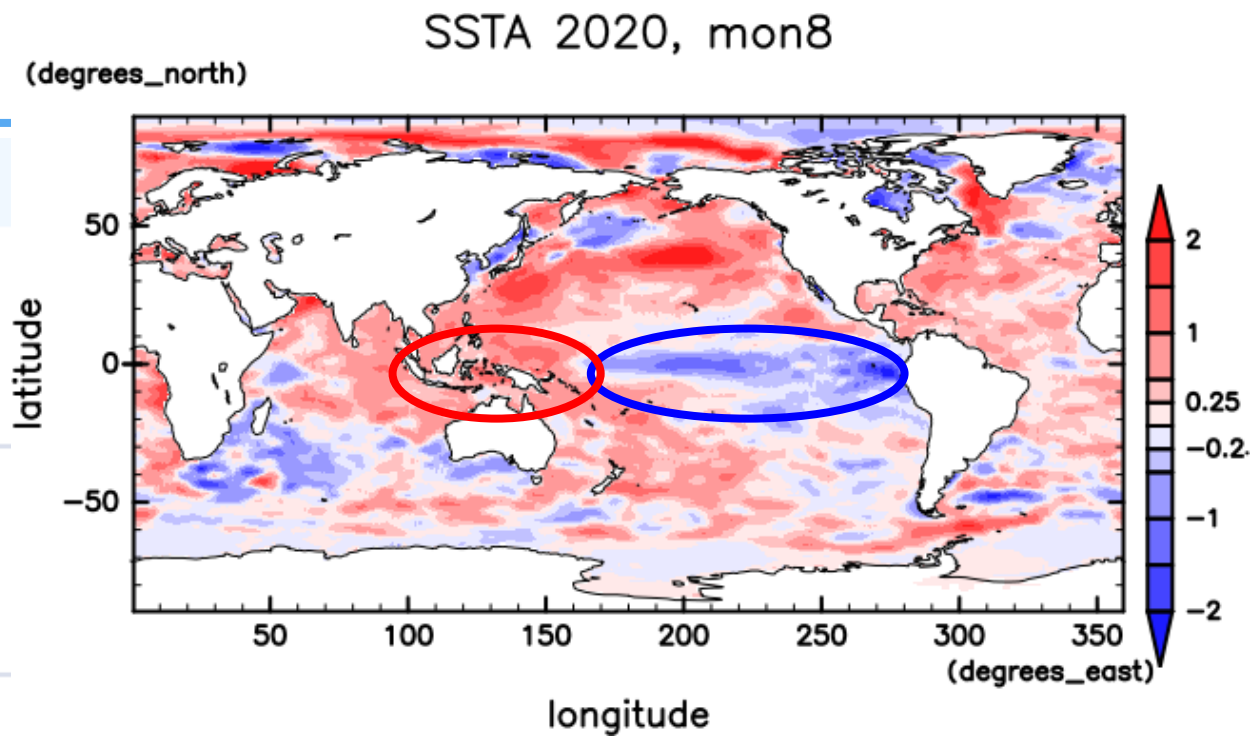
2020年8月の実況と2020年9月～2021年3月の見通し

報道発表日

令和2年9月10日

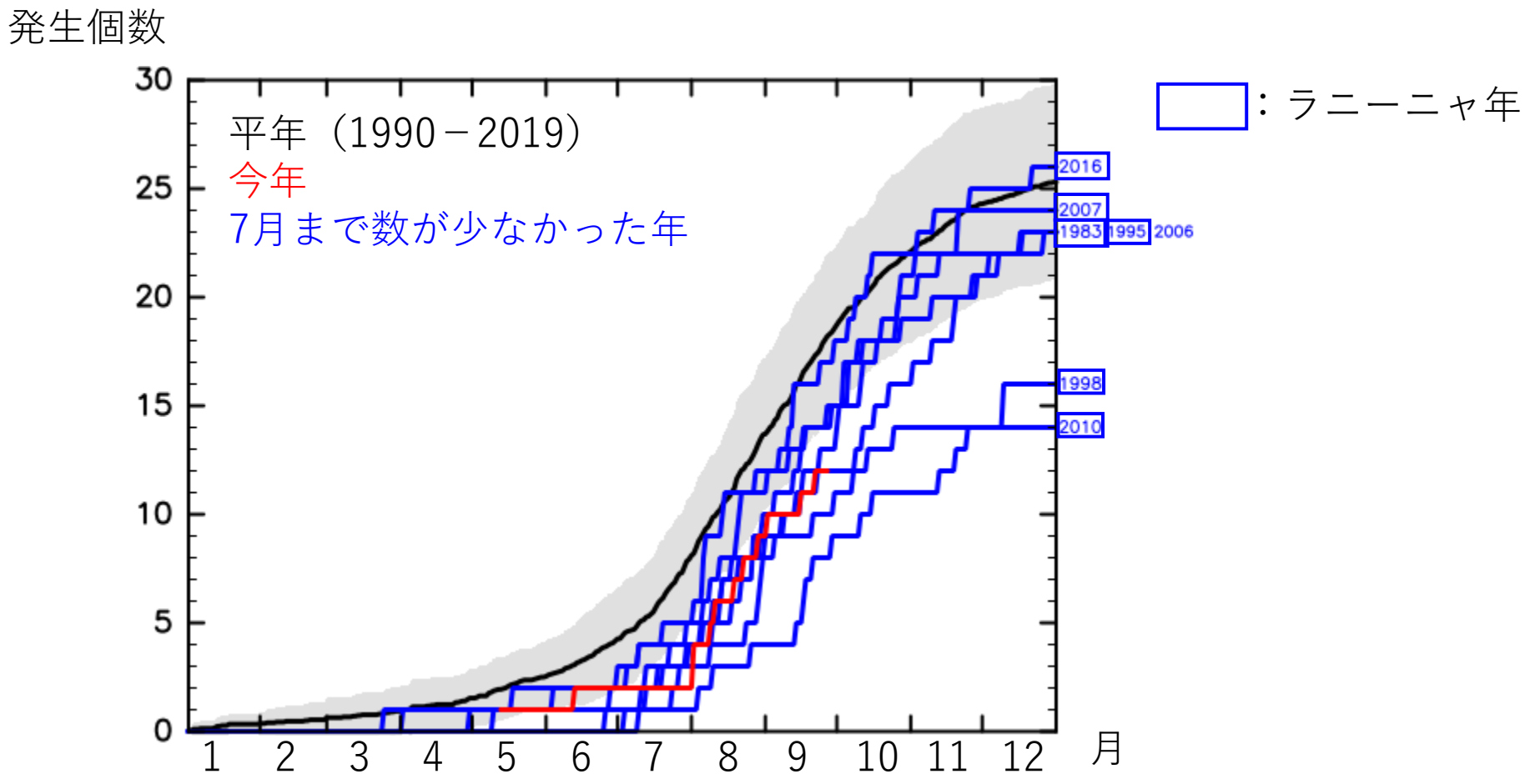
概要

- ラニーニャ現象が発生したとみられる。
- 今後冬にかけては、ラニーニャ現象が続く可能性が高い（70%）。



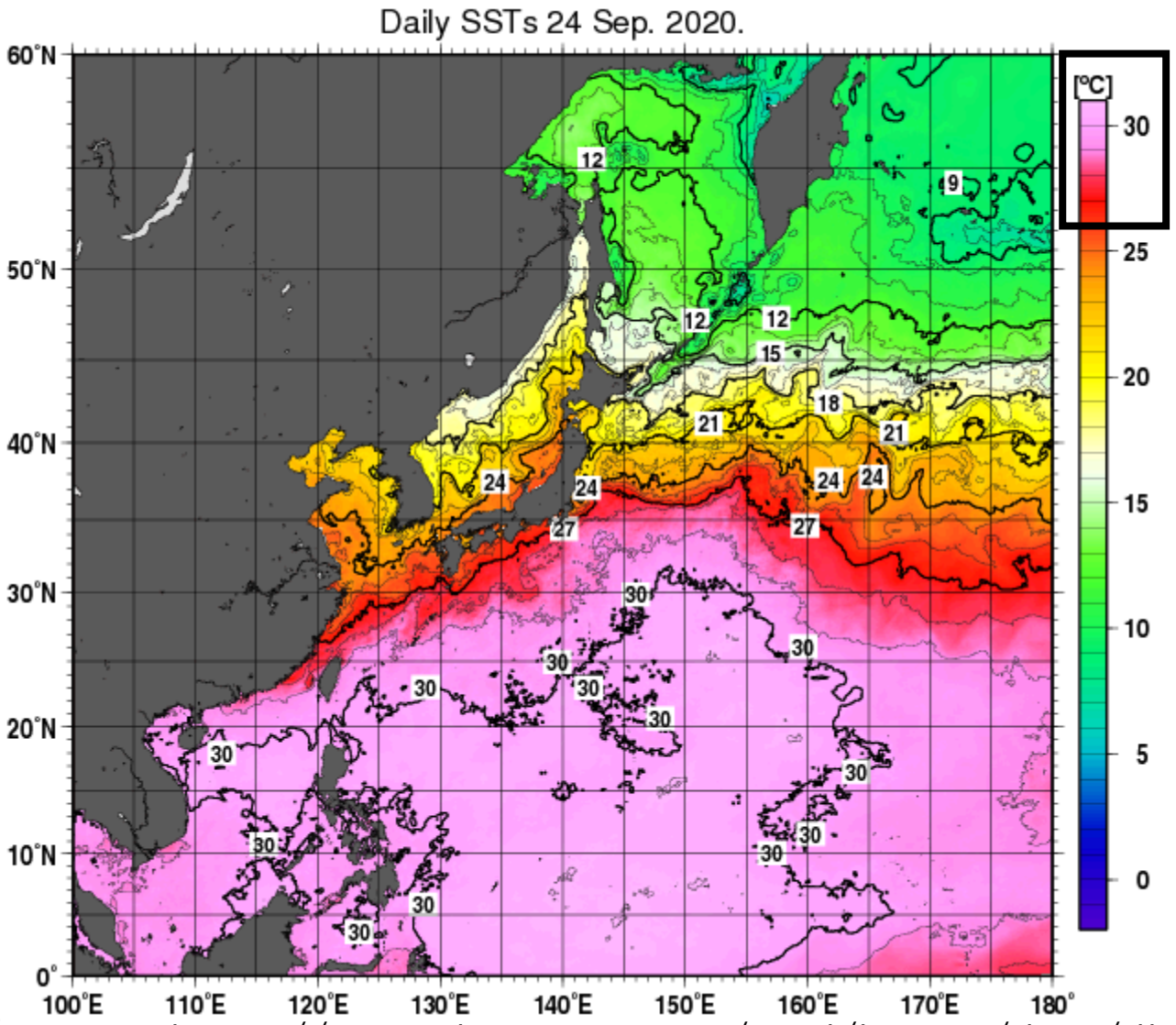
http://www.jma.go.jp/jma/press/2009/10a/elnino202009.html

今後の見通し



7月まで少なくても、1年の発生数は平年並みになる可能性

今後の見通し

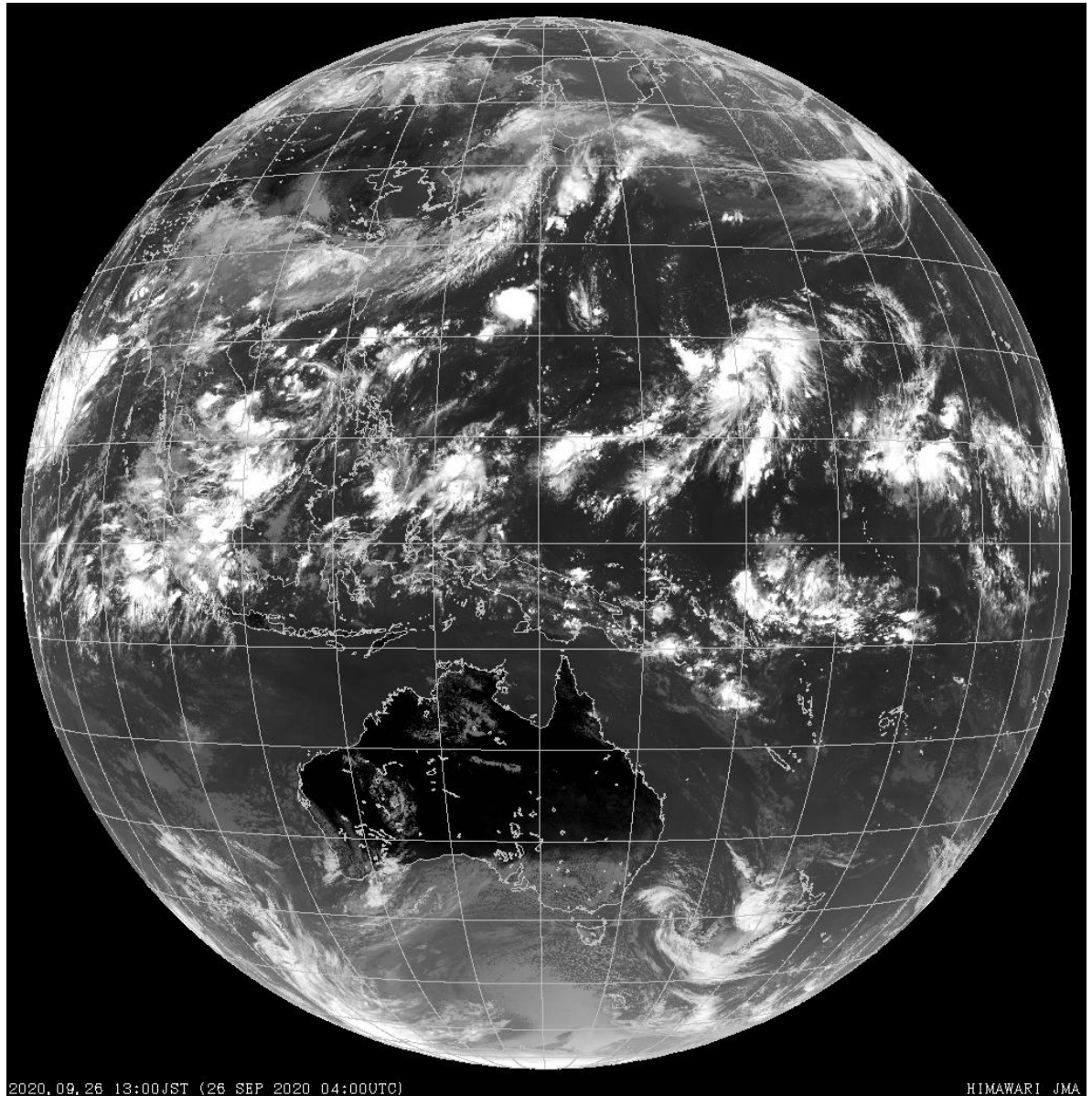


台風発生に必要な水温

日本付近も
十分高い

https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/db/kaikyo/daily/sst_wnp.html

今後の見通し



台風の発生環境を整える雲や台風の「卵」になりそうな雲が見られる。

https://www.jma.go.jp/jp/gms/

まとめ

- インド洋から西太平洋の海面水温が高かった。
- インド洋の雲活動が活発だった
- テレコネクションでフィリピン付近で高気圧が強まり、日本付近では平年より低気圧だった。
- 高気圧と低気圧の間で南からの湿った風が入りやすい状況だった
- フィリピン付近の雲が少なかったので、台風が発生しにくかった
- ラニーニャ現象の年の台風発生は、7月まで低調だがその後平年並みになる可能性が高い。
- まだ日本近海の海面水温が十分高いこと、台風の「卵」になりそうな雲が見られるので、今後も要注意。